

	フェーズ3	フェーズ4	フェーズ5	フェーズ6
--	-------	-------	-------	-------



WHO定義	パンデミックアラート期			パンデミック期
	ヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認されているが、ヒトからヒトへの感染は基本的に無い	ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認されているが、感染集団は小さく限られている	ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認され、パンデミック発生のリスクが大きな、より大きな集団発生がみられる	ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認され、パンデミック発生のリスクが大きな、より大きな集団発生がみられる
(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明らかな感染源である動物への曝露歴があり、ヒトが感染源では無い、ヒト症例の発生。</li> <li>・ ごくまれに同居家族や、感染防御装備をしていない医療従事者などで、密接な接触による感染がみられる。</li> <li>・ 継続的なヒト-ヒト感染伝播の証拠は無い。</li> <li>・ 共通の環境因子から感染したと思われるが、ヒト-ヒト感染を除外することができない、ヒト症例のクラスター。</li> <li>・ 曝露源が特定できないが、クラスターにもヒト症例にも関連付けることができない症例。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少数のヒト症例からなる複数のクラスター（例：25例未満のクラスター、2週間未満持続）</li> <li>・ 少数のヒト症例が、明らかなヒト以外の曝露源無しに、複数の地理的に関連する地域に出現し、ヒト-ヒト感染によって最もよく説明できると判断される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスター関連の感染伝播が継続しているが、総症例数の急増は無い。（例：25-50例のクラスター、2から4週間持続）</li> <li>・ 感染伝播は持続しているが、症例は地方（人里離れた村、島など）に限局。</li> <li>・ クラスターが発生していることが知られている地域社会において、曝露源がよく分からない少数の症例が出現する（たとえば、より広範な拡散の始まり）。</li> <li>・ 同一のあるいは密接に関連したウイルス株により、ひとつあるいは複数の地理的領域でクラスターが出現し、急速に症例数が増加している。</li> </ul>	
新型インフルエンザ対策行動計画における用語	<p>鳥インフルエンザ</p>		<p>新型インフルエンザ</p>	

インフルエンザ (H5N1亜型)

トルコでのウイルス株

- ・ 赤血球凝集素受容体タンパクの amino 酸配列の変異  
: ヒトの受容体に結合能力が増加
- ・ ポリメラーゼタンパクの変異  
: ウイルスは鼻などの温度の低い部位で生存しやすくなる。

その他のウイルス (H?N?)

